

城・まち刈谷デザイン会議

駅前広場、高架下の活用事例

2025.08.27

みどりや設計室

PLAY！高架下ひろば

東京 / 練馬区

石神井公園駅～大泉学園駅間の高架下に整備された、地域の人にとって憩いの場となったり、多様な活動ができる自由さを持ったスペース。

元々は「PLAY! 高架下」と称したイベントプロジェクトとして一部スペースを開放されていたが、好評を得られたため常設のスペースとして新たに整備され誕生。



もんとぱーく

大阪 / 泉大津市

南海電鉄の南海本線高架下につくられた広場。広場の土地は、所有する南海電鉄が泉大津市へ無償貸与し、市が広場整備費負担・管理・運営を行う。芝生ステージ広場は、キッチンカーが乗り入れ可能な仕様としており、イベント開催時の中心的な空間となることを想定。



新川モール

静岡 / 浜松市

ここはまちなかの余白。何もしなくても居ていい場所。
 コーヒーを買ったり、お弁当を食べたり、時間をつぶしたり、ただぼーっとしたり、していい場所。
 どこで待ち合わせする？
 週末はどうする？
 もうすこし話したいね。とりあえず、新川モールへ。



KOCA

東京 / 大田区

あらゆるクリエイションの実験をサポートするコワーキングであり、工房であり、インキュベーションスペースです。様々なものが混在するエネルギー溢れるこのまちで、エリア周辺に点在する場や人と連携し、モノづくりネットワークを強化していくひとつの拠点として運営。



One Green Mile

インド / ムンバイ

主要幹線道路の高架下に計画。負の影響への対処と緑化や快適さを目指して、全体性を伝えるアクセントカラーを備え様々な公共機能を提供する空間を考案。大都市での再現可能なアプローチとなる事も意図



とよしば

愛知 / 豊田市

いろんなことができる芝生広場には細長い建物が併設され、飲食店やギャラリースペース、ちょっとした機材を備えた工作室、多目的に使えるレンタルスペースのスタジオなどが軒を連ねる。

2015 年から段階的に開発され、現在は駅前再整備開発中。
フレキシブルに解体できるような部材で建築された。



日田駅前広場

大分 / 日田市

かつての駅前空間を改修し、再生。

地元産の木材や石材を用い、休憩とパフォーマンスの場を分けて設計。

「HITA」の地名サインや進撃の巨人像など観光資源も配置。日常の憩いとイベント利用を兼ねる、市民と観光客が交わる玄関口。



カミハチキテル

広島 / 広島市

カミハチキテル1は「道路」をひとのためのプレイスに変身させた。カミハチキテル2は「広場」。会場となる基町クレドふれあい広場のあらゆる場所に、イタリア製の高質な人工芝、ベルギー製のストリートファニチャーが設置され、広島都心で一番くつろげる場所への転換をめざす。



Ruten Park

ノルウェー

芝生と大屋根「リング」を備え、雨の日も使える居場所。
ステージや滝、スケートパークや遊び場を備え、
イベントから日常利用まで幅広く対応する。
子どもから大人まで全世代が集い憩う、都市の新しいリ
ビングとして機能する。

